

2008年3月期 決算説明会

2008年5月12日
日機装株式会社

この配布資料に記載されている業績予想は、将来の実績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、今後の日本経済や当社関連業界の動向、新たな事業・製品・サービスや価格水準等さまざまな要因により、これら見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんので、ご承知おき下さい。

連結

決算概要

営業外損益、特別損益

受注高、売上高の推移

利益の推移

カンパニー別売上高推移

カンパニーの状況

セグメント業績推移(事業別、所在地別)

貸借対照表

キャッシュフロー

業績の見通し

カンパニー別受注・売上予想

各種データ

各種比率の推移

売上高構成(カンパニー別、製品別)

海外売上高推移 輸出国別売上

部門別売上高、受注高、受注残高

決算概要(連結)



(単位:百万円)

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	前期比	
受注高	62,265	70,239	77,374	7,135	10.2%
売上高	58,916	65,399	72,531	7,132	10.9%
売上総利益	18,883	20,353	23,115	2,761	13.6%
販管費	13,253	14,617	16,207	1,590	10.9%
営業利益	5,630	5,736	6,908	1,171	20.4%
経常利益	6,553	6,410	6,369	40	0.6%
当期純利益	3,709	4,015	3,657	357	8.9%

営業外損益(連結)



主な営業外損益項目

(単位:百万円)

(収益)	07年3月期	08年3月期
受取配当金	89	165
持分法投資利益	351	118
受取地代家賃	152	145
為替差益	117	-
(費用)		
支払利息	257	560
社債発行費	-	64
たな卸資産処分損	63	116
為替差損	-	630

特別損益(連結)



主な特別損益項目

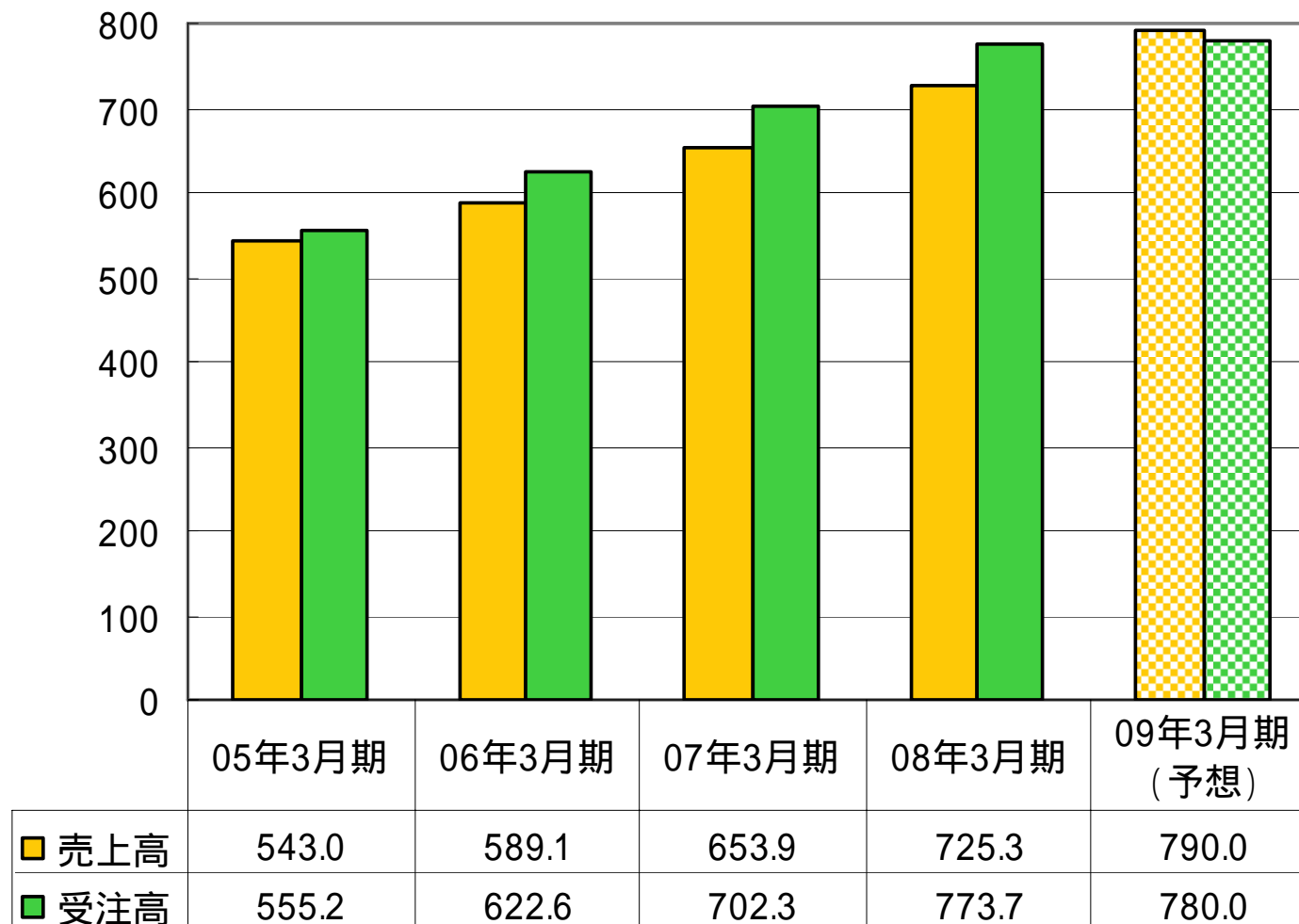
(単位:百万円)

(利益)	07年3月期	08年3月期
投資有価証券売却益	61	882
固定資産売却益	2	165
(損失)		
固定資産除却損	139	72
投資有価証券評価損	-	669

受注高、売上高の推移(連結)

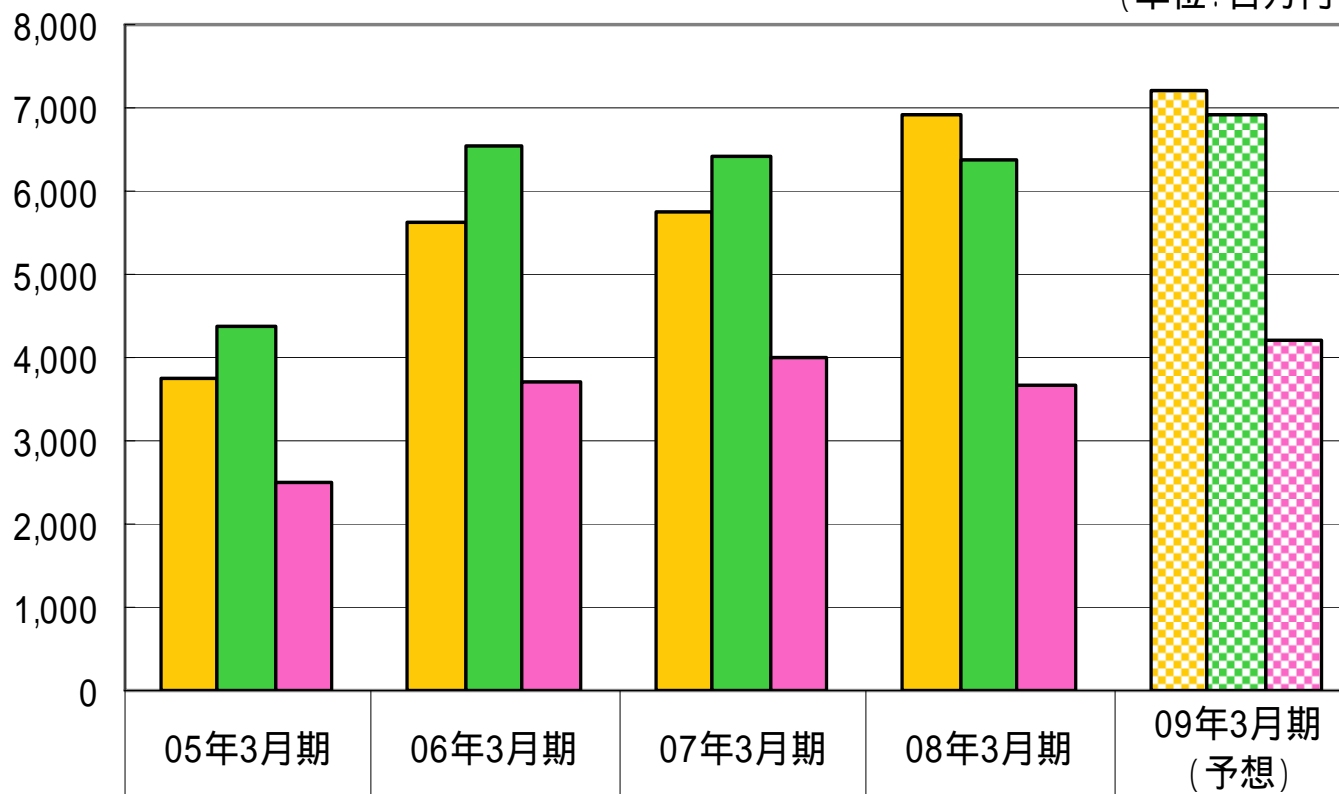


(単位: 億円)



利益の推移(連結)

(単位: 百万円)



■ 営業利益	3,736	5,630	5,736	6,908	7,200
■ 経常利益	4,387	6,553	6,410	6,369	6,900
■ 当期純利益	2,518	3,709	4,015	3,657	4,200

カンパニー別売上高推移(連結)



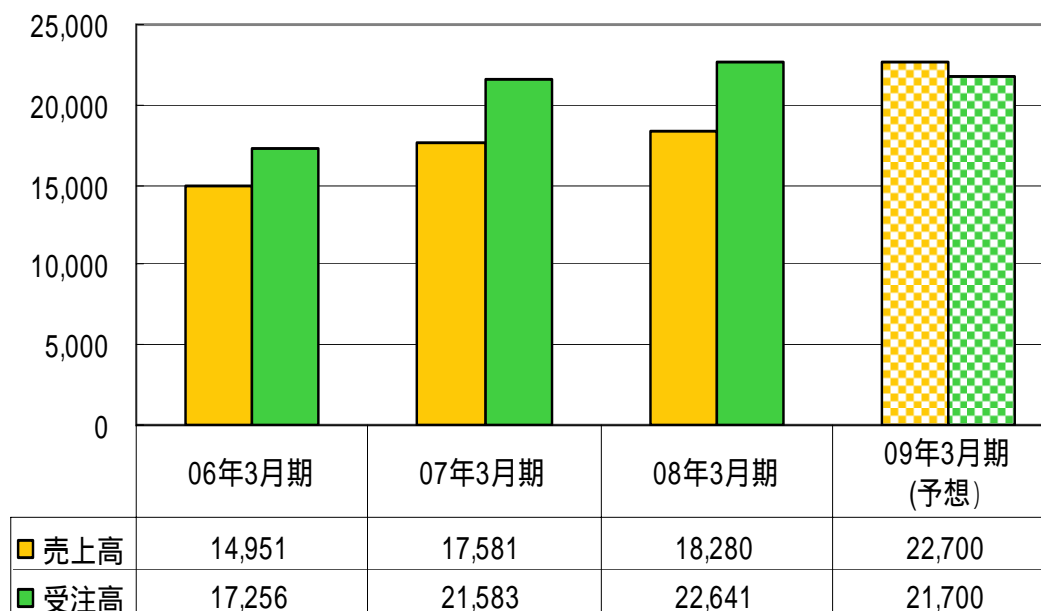
(単位:百万円)

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	前期比	
流体技術	14,951	17,581	18,280	699	4.0%
インダストリアルソリューションズ	7,312	9,362	10,462	1,099	11.7%
複合材	3,600	4,388	5,482	1,093	24.9%
医療機器	33,052	34,067	38,306	4,238	12.4%

カンパニーの状況

○流体技術カンパニー

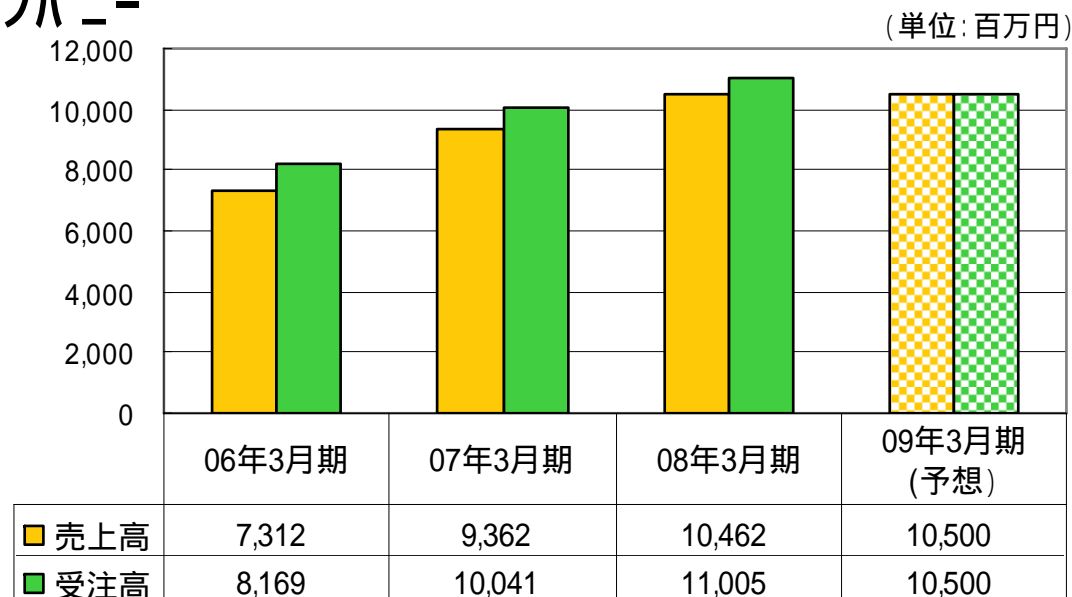
(単位:百万円)



- ・ノンシールポンプ・ミルフローポンプの海外からの大口受注が寄与
- ・北米のノンシールポンプ事業が軌道に乗り始めた
- ・クライオジェニックポンプの受注・売上は、設備投資需要は依然根強いが、一部のプロジェクトが次期へのシフトにより極めて高い水準であった前期実績を下回る
- ・生産効率向上のための設備増強工事を進行中(流体機器工場、米国子会社)
- ・次期は、受注は当期より若干減少、売上は当期を上回る見込み

カンパニーの状況

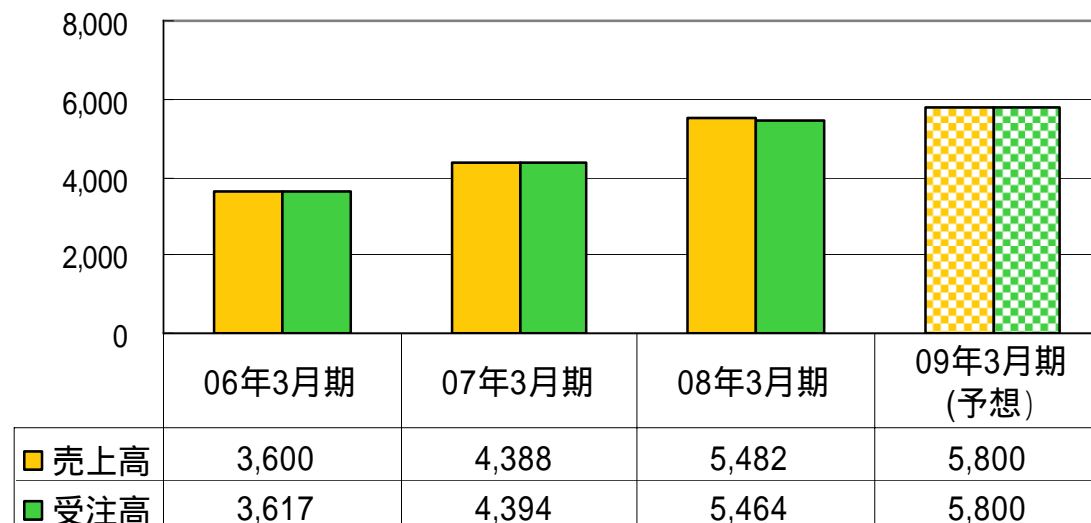
○インダストリアルソリューションズカンパニー



- ・電力向け水質調整装置は国内外新設向けが好調、温水ラミネータ・自動積層機の引き合いも活発で、受注・売上増に寄与した
- ・工場排水処理ビジネスの実績が出始めている
- ・次期は、一部顧客業界に不透明さが増している中でも、受注・売上は、ほぼ当期並みの見込み

○複合材カンパニー

(単位:百万円)



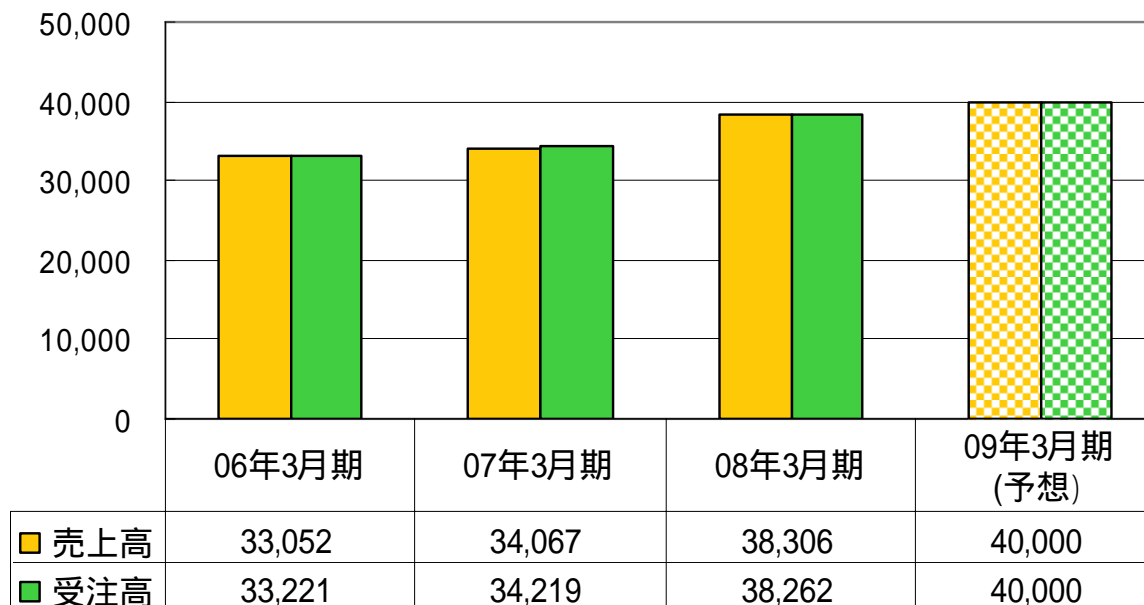
- ・期末を控えて急速な円高による、マイナス面の影響を受けたが
受注、売上ともに前期を大幅に上回った
- ・航空業界が活況を呈し、主要製品のカスケードは受注・売上ともに順調に推移
- ・生産能力増強および生産効率向上のため工場拡張工事完了
- ・引き続き円高によるマイナス面の影響はあるが、次期は、受注・売上ともに
当期を上回る見込み

カンパニーの状況



○医療機器カンパニー

(単位:百万円)



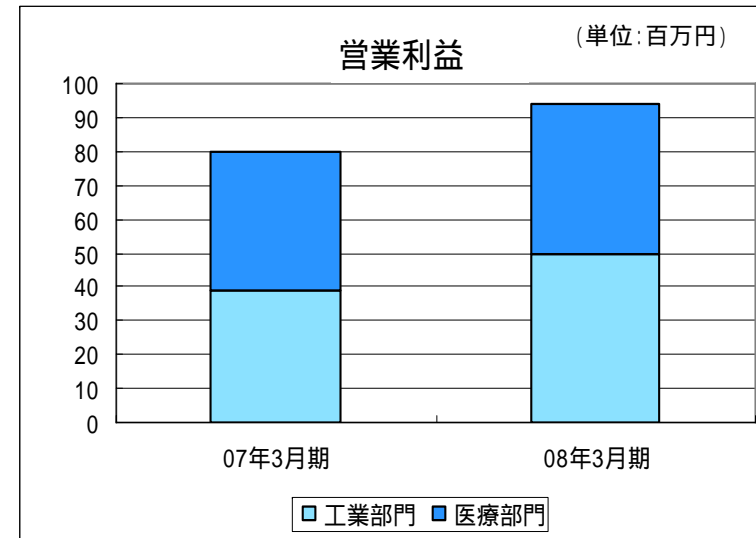
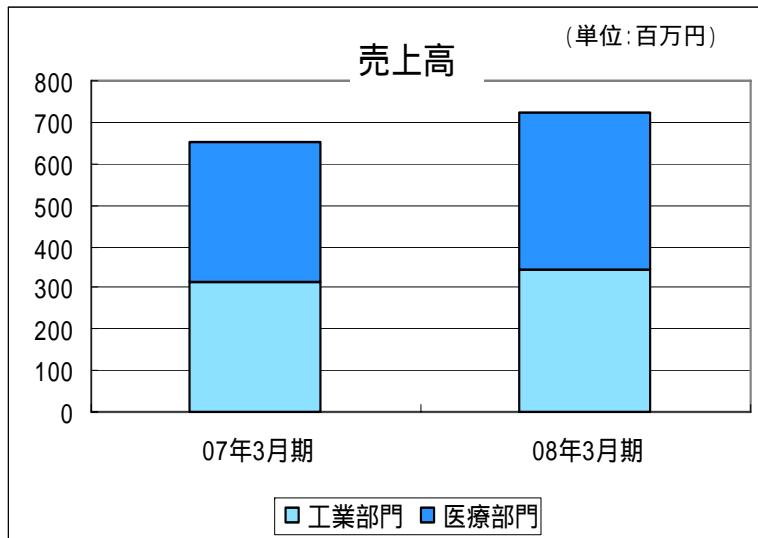
- ・病院経営が厳しさを増す中、透析装置の買い控え傾向は続いたが、下期にリリースした新型の装置が順調に売上を伸ばした
- ・金沢工場のダイアライザー、ベトナム工場の血液回路の増産体制が整い、販売数を伸ばす
- ・ドイツ子会社での装置生産に向けた準備を進行中
- ・次期は、受注・売上ともに当期を上回る見込み

事業別セグメント業績推移 (連結)

(単位:百万円)

		07年3月期	08年3月期	前期比	
工業部門	売上高	31,332	34,225	2,893	9.2%
	営業利益	3,904	5,070	1,166	29.9%
医療部門	売上高	34,067	38,306	4,238	12.4%
	営業利益	4,185	4,462	276	6.6%

(注)営業利益は、共通部門経費控除前の表示で、07.03(23億円)08.03(26億円)が含まれています。



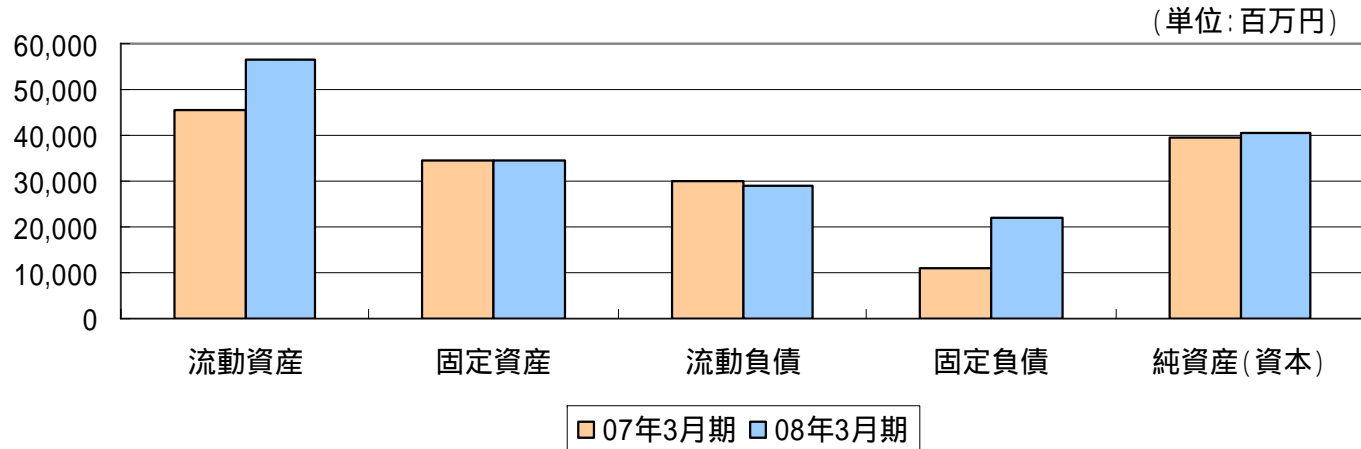
所在地別セグメント業績推移(連結)



(単位:百万円)

		07年3月期	08年3月期	前期比	
日本	売上高	60,842	65,054	4,211	6.9%
	営業利益	7,786	8,868	1,082	13.9%
アジア	売上高	5,264	7,612	2,347	44.6%
	営業利益	44	299	254	567.5%
北アメリカ	売上高	2,568	3,191	622	24.3%
	営業利益	244	501	257	105.3%
ヨーロッパ	売上高	5,423	7,142	1,718	31.7%
	営業利益	180	95	84	47.1%

貸借対照表推移 (連結)



(単位: 百万円)

	07年3月期	08年3月期	増減額
流動資産	45,547	56,502	10,955
固定資産	34,597	34,654	57
資産合計	80,144	91,156	11,012
流動負債	29,954	29,212	741
固定負債	10,760	21,663	10,903
負債合計	40,714	50,876	10,161
純資産合計	39,430	40,280	850

貸借対照表(連結) 主な増減



(単位:百万円)

	07年3月期	08年3月期	増減額	
資産の部				
現金及び預金	6,413	10,829	4,416	1・2
受取手形及び売掛金	25,917	28,738	2,820	2
たな卸資産	11,441	14,589	3,147	2
有形固定資産	17,069	20,513	3,444	3
投資有価証券	14,147	10,184	3,962	4
負債の部				
一年以内返済予定長期借入金	6,910	1,840	5,069	1
社債	-	6,000	6,000	1
長期借入金	8,272	14,284	6,012	1
純資産の部				
利益剰余金	26,201	29,083	2,881	
その他有価証券評価差額金	2,978	844	2,133	4

(増減の主な内訳)

1 設備投資・リファイナンス資金の調達

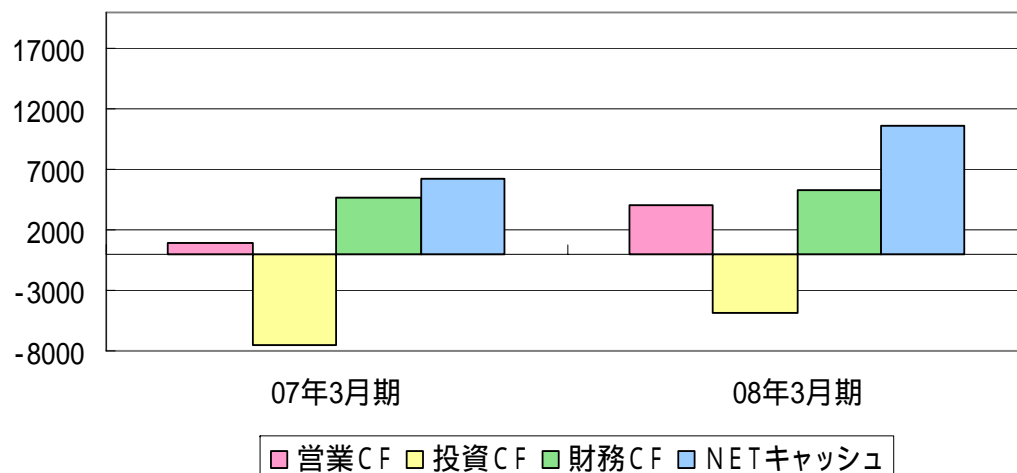
2 売上増に対応した増加

3 設備投資

4 株価下落

キャッシュフロー(連結)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	07年3月期	08年3月期	増減額
営業CF	937	4,101	3,164
投資CF	7,594	4,840	2,754
財務CF	4,718	5,275	557
NET キャッシュ	6,278	10,565	4,287

主な増減内訳

営業CF

税金等調整前当期純利益

6,682

減価償却費

2,411

たな卸資産の増加額

2,885

法人税等の支払額

2,167

投資CF

有形固定資産 取得

4,663

財務CF

短期借入(ネット)

865

長期借入(ネット)

935

社債発行

6,000

配当金支払

775

業績の見通し(2009年3月期)(連結)



(単位:百万円)

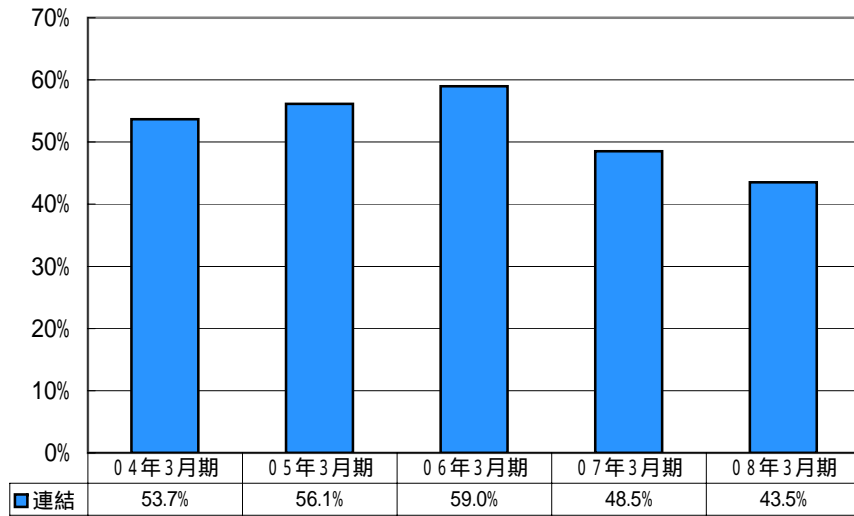
(連結)	08年3月期 実績	09年3月期 1/2 予想	09年3月期 2/2 予想	09年3月期 予想	増減額	
売上高	72,531	38,000	41,000	79,000	6,469	8.9%
営業利益	6,908	3,200	4,000	7,200	292	4.2%
経常利益	6,369	3,100	3,800	6,900	531	8.3%
当期純利益	3,657	1,800	2,400	4,200	543	14.8%

カンパニー別受注・売上予想(連結)

(単位:百万円)

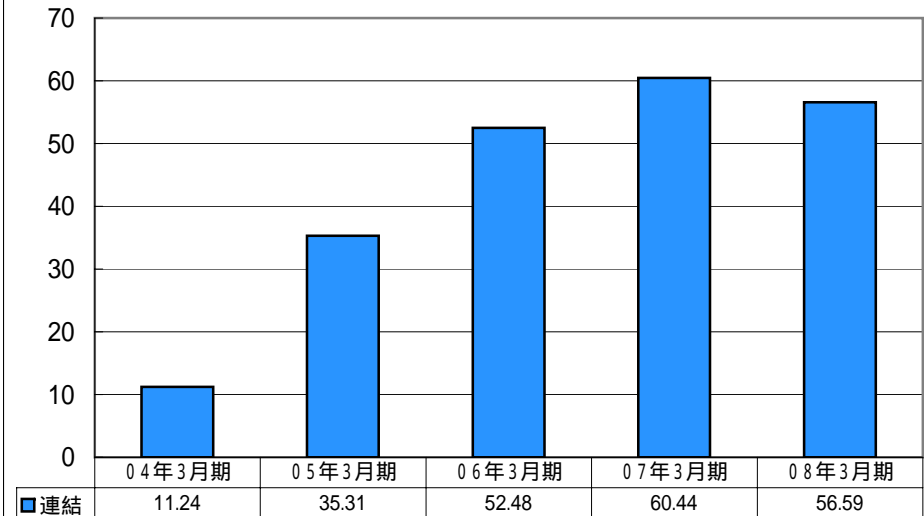
		08年3月期 実績	09年3月期 1/2 予想	09年3月期 2/2 予想	09年3月期 予想
流体技術	受注	22,641	11,400	10,300	21,700
	売上	18,280	11,400	11,300	22,700
インダストリアル ソリューションズ	受注	11,005	5,000	5,500	10,500
	売上	10,462	5,000	5,500	10,500
複合材	受注	5,464	2,600	3,200	5,800
	売上	5,482	2,600	3,200	5,800
医療機器	受注	38,262	19,000	21,000	40,000
	売上	38,306	19,000	21,000	40,000
合 計	受注	77,374	38,000	40,000	78,000
	売上	72,531	38,000	41,000	79,000

自己資本比率推移(連結)

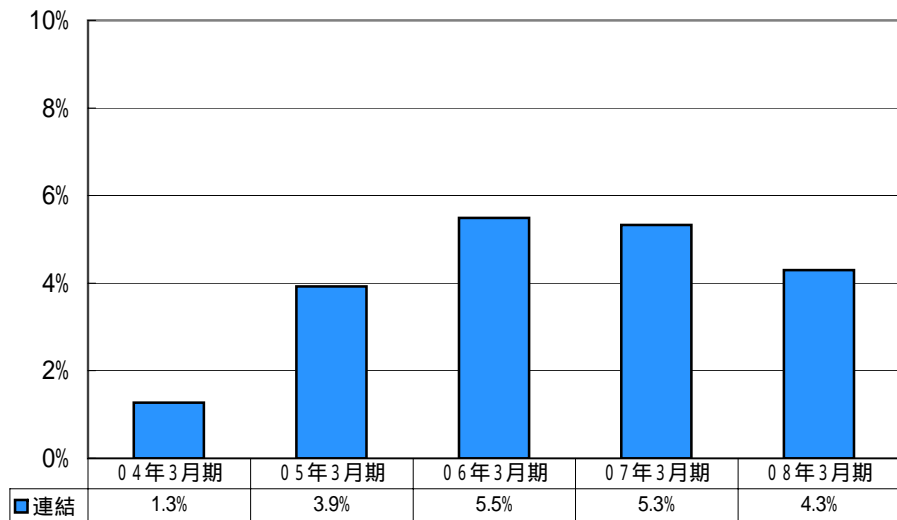


一株当たり当期純利益推移(連結)

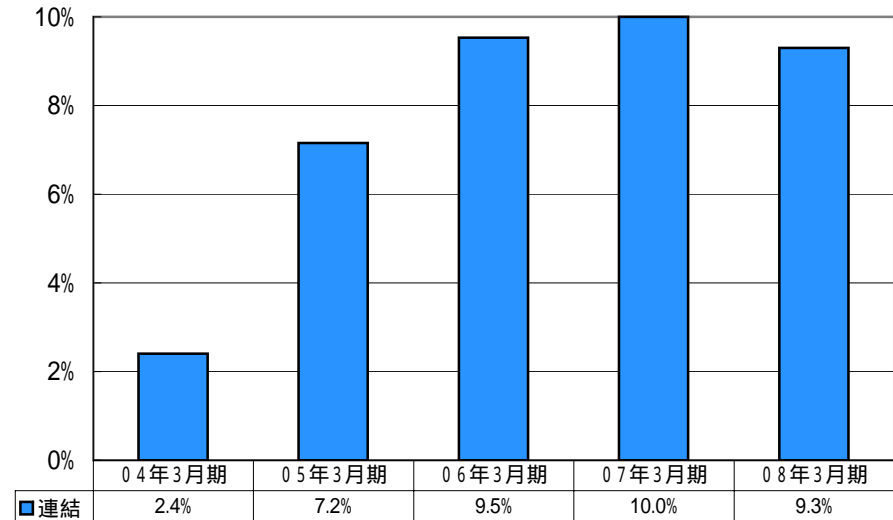
(単位 円 銭)



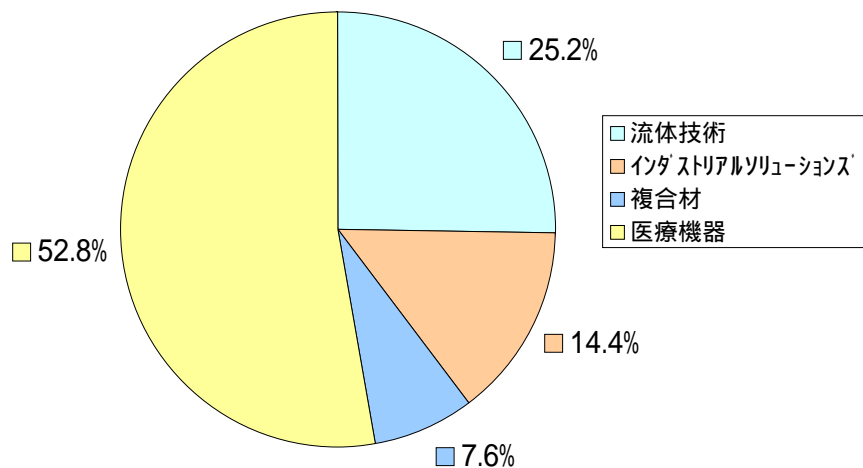
ROA比率推移(連結)



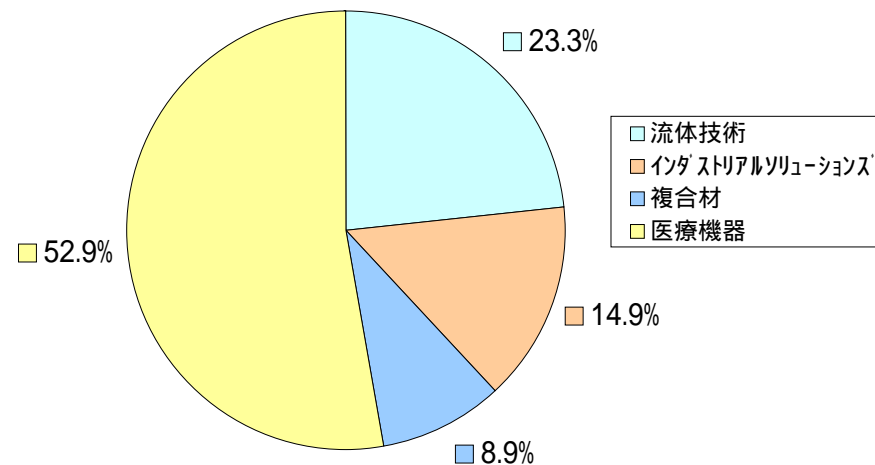
ROE比率推移(連結)



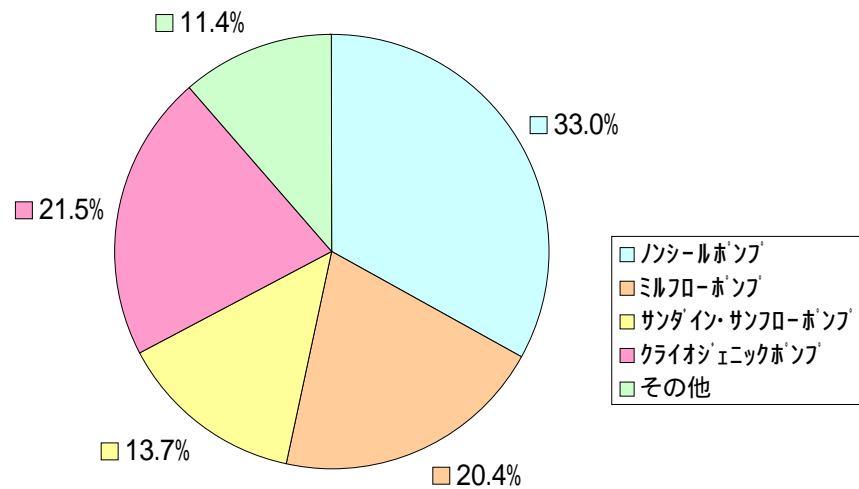
売上高構成(連結)



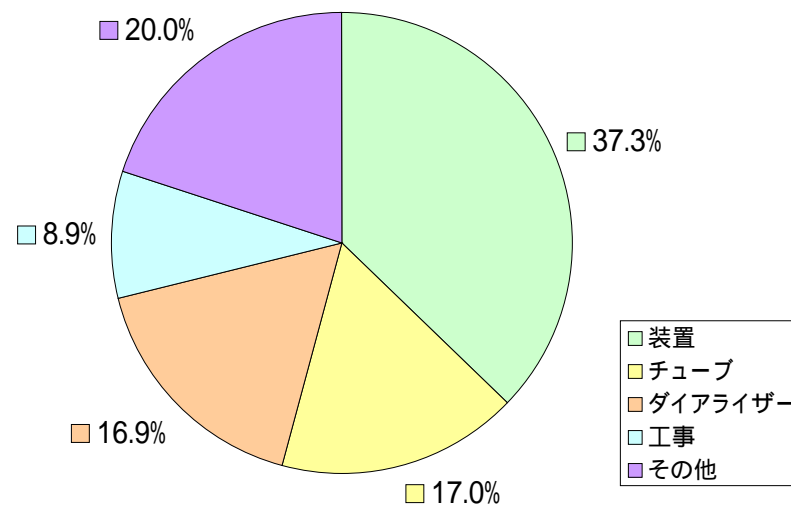
売上高構成(単独)



流体技術カンパニー 売上高構成(単独)

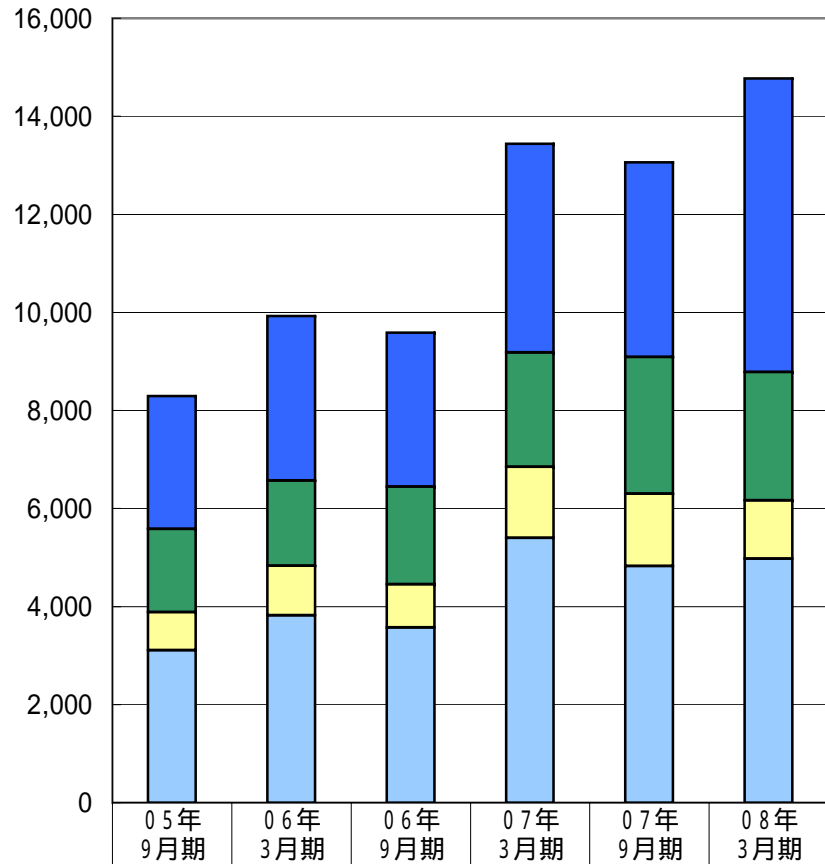


医療機器カンパニー 売上高構成(単独)



海外売上高推移(連結)

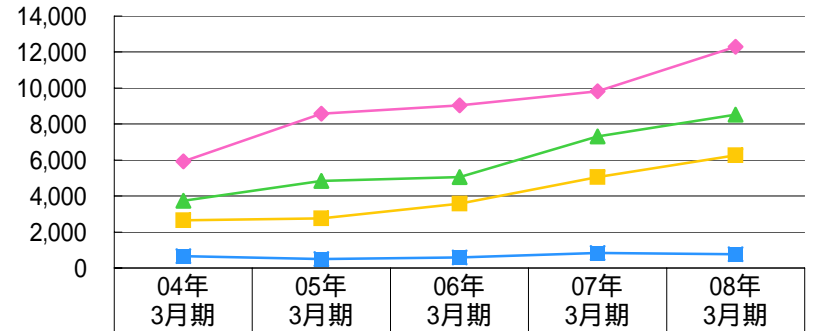
(単位:百万円)



医療機器	2,708	3,354	3,143	4,258	3,971	5,988
複合材	1,695	1,740	1,995	2,329	2,787	2,614
ISOL	782	1,010	882	1,447	1,478	1,189
流体技術	3,106	3,820	3,569	5,404	4,823	4,978

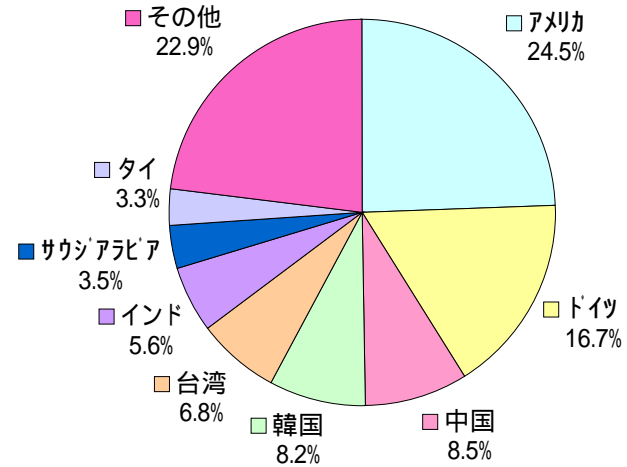
海外売上高推移(連結)

(単位:百万円)



アジア	5,931	8,575	9,045	9,822	12,287
北アメリカ	2,656	2,754	3,575	5,051	6,256
ヨーロッパ	3,742	4,837	5,053	7,319	8,522
その他の地域	659	492	583	836	762

輸出売上高「国別」構成(単独)



連結 部門別売上高・受注高および受注残高

(単位：百万円)

分区分	項目	前連結会計年度 (自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日)		増減金額 (百万円)	増減率(%)	
		金額	構成比%	金額	構成比%			
工業部門	流体技術 カンパニー	売上高	17,581 (8,973)	25.4 (38.0)	18,280 (9,801)	25.2 (35.2)	699 (827)	4.0 (9.2)
		受注高	21,583 (12,735)	27.7 (43.0)	22,641 (13,962)	29.3 (43.0)	1,058 (1,227)	4.9 (9.6)
		受注残高	12,166 (9,759)	70.4 (90.3)	16,527 (13,920)	77.7 (91.8)	4,361 (4,160)	35.8 (42.6)
	インダストリアル ソリューションズ カンパニー	売上高	9,362 (2,329)	12.4 (9.8)	10,462 (2,667)	14.4 (9.6)	1,099 (337)	11.7 (14.5)
		受注高	10,041 (2,391)	13.1 (9.8)	11,005 (2,793)	14.2 (8.6)	964 (402)	9.6 (16.8)
		受注残高	3,691 (536)	26.0 (7.2)	4,234 (662)	19.9 (4.4)	542 (126)	14.7 (23.5)
	複合材 カンパニー	売上高	4,388 (4,324)	6.1 (18.9)	5,482 (5,401)	7.6 (19.4)	1,093 (1,077)	24.9 (24.9)
		受注高	4,394 (4,324)	5.8 (16.9)	5,464 (5,401)	7.0 (16.7)	1,069 (1,077)	24.3 (24.9)
		受注残高	26 (--)	0.2 (--)	8 (--)	-- (--)	17 (--)	67.7 (--)
	小 計	売上高	31,332 (15,627)	43.9 (66.7)	34,225 (17,870)	47.2 (64.2)	2,893 (2,242)	9.2 (14.4)
		受注高	36,019 (19,450)	46.6 (69.7)	39,112 (22,157)	50.5 (68.3)	3,092 (2,706)	8.6 (13.9)
		受注残高	15,884 (10,295)	96.6 (97.5)	20,770 (14,582)	97.6 (96.2)	4,886 (4,287)	30.8 (41.6)
医療部門	医療機器 カンパニー	売上高	34,067 (7,401)	56.1 (33.3)	38,306 (9,959)	52.8 (35.8)	4,238 (2,558)	12.4 (34.6)
		受注高	34,219 (7,480)	53.4 (30.3)	38,262 (10,289)	49.5 (31.7)	4,042 (2,809)	11.8 (37.6)
		受注残高	551 (247)	3.4 (2.5)	507 (577)	2.4 (3.8)	43 (330)	8.0 (133.8)
	小 計	売上高	34,067 (7,401)	56.1 (33.3)	38,306 (9,959)	52.8 (35.8)	4,238 (2,558)	12.4 (34.6)
		受注高	34,219 (7,480)	53.4 (30.3)	38,262 (10,289)	49.5 (31.7)	4,042 (2,809)	11.8 (37.6)
		受注残高	551 (247)	3.4 (2.5)	507 (577)	2.4 (3.8)	43 (330)	8.0 (133.8)
合 計	売上高	65,399 (23,029)	100.0 (100.0)	72,531 (27,830)	100.0 (100.0)	7,132 (4,800)	10.9 (20.8)	
	受注高	70,239 (26,931)	100.0 (100.0)	77,374 (32,447)	100.0 (100.0)	7,135 (5,516)	10.2 (20.5)	
	受注残高	16,435 (10,542)	100.0 (100.0)	21,278 (15,160)	100.0 (100.0)	4,842 (4,617)	29.5 (43.8)	

(注) 下段の括弧内(内書)は、海外売上高・受注高および受注残高です。

単独 部門別売上高・受注高及び受注残高

(単位 百万円)

分社区分	項目	前事業年度 (自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日)		当事業年度 (自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日)		増減金額 (百万円)	増減率(%)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
工業部門	流体技術 加ハニ-	売上高	14,305 (7,335)	24.8 (40.0)	14,346 (7,646)	23.3 (37.7)	40 (311)	0.3 (4.2)
		受注高	18,031 (10,835)	29.0 (49.5)	17,924 (11,067)	27.4 (46.5)	106 (232)	0.6 (2.1)
		受注残高	11,554 (9,176)	73.9 (94.7)	15,132 (12,598)	77.0 (95.5)	3,578 (3,421)	31.0 (37.3)
	インダストリアル ソリューションズ 加ハニ-	売上高	8,146 (1,151)	14.1 (6.3)	9,155 (1,389)	14.9 (6.9)	1,009 (237)	12.4 (20.6)
		受注高	8,821 (1,209)	14.2 (5.5)	9,655 (1,472)	14.7 (6.2)	834 (262)	9.5 (21.7)
		受注残高	3,706 (515)	23.7 (5.3)	4,206 (598)	21.4 (4.5)	500 (83)	13.5 (16.1)
	複合材 加ハニ-	売上高	4,388 (4,324)	7.6 (23.6)	5,482 (5,401)	8.9 (26.6)	1,093 (1,077)	24.9 (24.9)
		受注高	4,394 (4,324)	7.1 (19.8)	5,464 (5,401)	8.3 (22.7)	1,069 (1,077)	24.3 (24.9)
		受注残高	26 (--)	0.2 (--)	8 (--)	0.1 (--)	17 (--)	67.7 (--)
	小 計	売上高	26,840 (12,810)	46.5 (69.8)	28,984 (14,437)	47.1 (71.2)	2,143 (1,626)	8.0 (12.7)
		受注高	31,247 (16,369)	50.3 (74.8)	33,044 (17,942)	50.4 (75.4)	1,797 (1,572)	5.8 (9.6)
		受注残高	15,286 (9,692)	97.7 (100.0)	19,347 (13,196)	98.5 (100.0)	4,060 (3,504)	26.6 (36.2)
医療部門	医療機器 加ハニ-	売上高	30,867 (5,541)	53.5 (30.2)	32,558 (5,847)	52.9 (28.8)	1,691 (305)	5.5 (5.5)
		受注高	30,916 (5,516)	49.7 (25.2)	32,498 (5,847)	49.6 (24.6)	1,581 (330)	5.1 (6.0)
		受注残高	357 (--)	2.3 (--)	297 (--)	1.5 (--)	60 (--)	16.9 (--)
	小 計	売上高	30,867 (5,541)	53.5 (30.2)	32,558 (5,847)	52.9 (28.8)	1,691 (305)	5.5 (5.5)
		受注高	30,916 (5,516)	49.7 (25.2)	32,498 (5,847)	49.6 (24.6)	1,581 (330)	5.1 (6.0)
		受注残高	357 (--)	2.3 (--)	297 (--)	1.5 (--)	60 (--)	16.9 (--)
合 計	売上高	57,708 (18,352)	100.0 (100.0)	61,543 (20,284)	100.0 (100.0)	3,834 (1,932)	6.6 (10.5)	
	受注高	62,164 (21,886)	100.0 (100.0)	65,543 (23,789)	100.0 (100.0)	3,379 (1,903)	5.4 (8.7)	
	受注残高	15,644 (9,692)	100.0 (100.0)	19,644 (13,196)	100.0 (100.0)	4,000 (3,504)	25.6 (36.2)	

(注) 下段の括弧内(内書)は、輸出額です。



日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3-43-2
<http://www.nikkiso.co.jp>

2008年3月期 決算
決算説明会資料

トピックス

- 目次 -

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| P 2 . 流体技術カンパニー | : ドイツ KSB 社と業務提携
新キャンドモータポンプを欧州で開発 |
| | : ポンプ事業の生産体制を強化 |
| P 3 . インダストリアル
ソリューションズカンパニー | : LTCC 基板の生産自動化システム開発 |
| P 4 . 複合材カンパニー | : 複合材製品工場の設備増強完了 |
| 医療機器カンパニー | : 新製品 人工腎臓装置
DCG 03 / DBG 03 販売好調 |
| P 5 . 医療機器カンパニー | : 日機装ベトナム 工場拡張工事進む |
| | : 人工腎臓装置 欧州工場稼動開始 |

ドイツ KSB 社と業務提携 新キャンドモータポンプを欧州で開発

2008年4月、当社は世界有数の総合ポンプメーカーであるドイツのKSB社（KSB Aktiengesellschaft）と欧州市場向けのキャンドモータポンプの開発、生産、販売に関する業務提携契約を締結いたしました。今後は、欧州の市場ニーズに合致したキャンドモータポンプの新シリーズを欧州をはじめロシア、中東、アフリカ市場向けに販売いたします。

本年6月には、合弁会社Nikkiso-KSB GmbHをドイツ国内に設立する予定で、当社とKSB社が有する技術力、販売網を結集し、欧州市場におけるキャンドモータポンプ事業の拡大を目指してまいります。

近年、世界的に環境問題への関心が高まる中、環境に悪影響を及ぼす液体を外部に漏らさないキャンドモータポンプのニーズが着実に広がっています。とくに環境保全に積極的な欧州ではその需要が高く、当社では、キャンドモータポンプの販売戦略上、極めて重要な地域として位置づけています。新シリーズは2010年から販売を開始し、2013年には欧州での市場シェアを3割、売上規模を現在の3倍である20百万ユーロに増加させる予定です。



当社製キャンドモータポンプ
（製品名：ノンシールポンプ）



業務提携記念式典

ポンプ事業の生産体制を強化

石油・石油化学、液化天然ガス市場におけるポンプの受注増加に対応するため、今期は国内外の生産拠点で生産体制の整備と強化を完了させ、生産効率の向上を推進いたします。

ポンプ事業の主力工場である流体機器工場(東村山製作所内)では、夜間でも連続自動運転が可能な最新のFMS（Flexible Manufacturing System）導入を5月に完了させ、加工にかかっていた時間を短縮するとともに、ノンシールポンプ、およびサンダインポンプ・コンプレッサの自動検査設備を導入し、検査時間の大幅な短縮を実施しました。



導入した最新式 FMS

また、海外では、クライオジェニックポンプの米国拠点Nikkiso Cryo, Inc.において、設計から部品調達、組み立て、テストまでの一貫した米国生産を行うための建屋と設備の増強を進めているほか、中国の生産・販売拠点である上海日機装ノンシールポンプ有限公司の工場移転と生産能力増強を計画中です。

今後もさらに生産体制の改善・充実を図り、営業部門と生産部門が一体となったシステムの構築を目指してまいります。



Nikkiso Cryo, Inc.

インダストリアルソリューションズカンパニー

LTCC 基板の生産自動化システム開発

前期(2007年4月~2008年3月)から、携帯電話の通信用高周波部品やGPS(全地球測位システム)無線LAN用モジュールなどに使用されるLTCC基板(低温同時焼結セラミック基板)の生産自動化システム開発を推進しています。すでに成膜シートを位置ずれなく積層する高精度積層装置「Hi-Stacker(ハイスタッカー)」の開発は完了しており、前期の販売開始から予想を上回る実績をあげ、順調な立ち上がりとなりました。

当社はLTCC基板関連製品として、シート原材料である粉末の粒度管理用途に使用されるマイクロトラック粒度分析計、積層されたシートを等方圧で熱圧着する温水ラミネータを販売し、国内有数の納入実績を誇っています。現在は多層基板の層間接続を行うためのスルーホール(VIA)形成装置と、回路パターン印刷装置を開発中で、今期中に販売を開始する計画です。



シート搬送機構を付加し、さらに進化したHi-Stacker

また、自動化システム構築の一環として、スロベニア共和国のKEKO EQUIPMENT社と輸入総代理店契約を結び、積層体切断装置などを順次製品群に加える予定です。

今後は、さらに生産ラインの省力化と生産性向上に寄与する製品展開を推進し、 piezo素子や燃料電池、太陽電池など、LTCC製品以外の積層プロセスへの応用拡販も進めてまいります。

複合材カンパニー

複合材製品工場の設備増強完了

前期は複合材製品工場（静岡製作所内）の建屋増築工事に引き続き、複合材製品の生産能力増強、生産効率向上のための新規生産設備導入が完了しました。大型製品の生産を行う大型5軸加工機、品質検査に使用する大型3次元測定機など、夜間でも連続自動運転が可能な新規設備導入により、CFRP製カスケードの生産能力は従来の1.8倍となりました。

近年の航空機業界の活況はめざましく、当社CFRP製カスケードの需要はますます増大するものと予想されます。今後は既存製品の生産増に迅速に対応するとともに、当社が培ってきたCFRP複合材製品の開発・生産技術力を発揮して、新規CFRP製カスケードや他の航空機用製品の開発に加え、航空機外製品を視野に入れた新規分野への開拓を積極的に進めてまいります。



大型5軸加工機



大型3次元測定機

医療機器カンパニー

新製品 人工腎臓装置 DCG 03 / DBG 03 販売好調

昨年10月に販売を開始した新型多用途透析用監視装置「DCG-03」および個人用多用途透析装置「DBG-03」は、前下半期(2007年10月～2008年3月)の半期実績で同型機種としては過去最高の販売台数と売上を達成しました。

同製品群は患者様の幅広い要望にお応えするため、当社の技術力を集約し、血液透析ろ過など一般的な血液透析以外の療法にも対応できるように開発されたオールラウンドな装置です。より安全性を重視した機能や、透析治療に従事するスタッフの日々の作業を快適にする操作性の向上に加え、丸みを帯びた優しいデザインなどがお客様に好評です。今期は中国、台湾を始めとしたアジア市場においても同製品群の販売を開始する予定です。



新製品 人工腎臓装置 DCG-03

日機装ベトナム 工場拡張工事進む

前期に開始した、日機装ベトナム(Nikkiso Vietnam MFG Co., Ltd.)の工場拡張工事が終盤を迎え、2008年6月の完成を目指し現在急ピッチで工事が進んでいます。ベトナム・ホーチミン市の日機装ベトナムでは、従来年間840万本の血液回路を生産していました。工事完成後には年間1,300万本の生産能力を有する工場となり、今後の人工透析市場の拡大に迅速に対応できる体制を整えることができます。

本年3月には滅菌棟が完成し、現在は管理棟などの建築が進められています。当社では欧州・アジアなど急速な拡大が続いている海外の人工透析市場で、より価格競争力のある製品供給も視野に入れた新たなビジネス展開を目指してまいります。



工場拡張工事完成予想図

人工腎臓装置 欧州工場稼動開始

ドイツ・ハノーバー市の Nikkiso Medical Systems GmbH (旧社名：MeSys GmbH Medizinische Systeme)では、前期に欧州向け人工腎臓装置 DBB-05 の現地生産工場を取得し、その改築工事を進めてまいりました。新工場は敷地面積約20,000㎡、床面積約5,000㎡で、本年3月にはその内装工事も終わり、今後のノックダウン生産に備えた部品受け入れなどの準備を着々と進めています。

5月には欧州における医療機器の製造・販売に不可欠なMDD(医用機器指令)認証を取得し、7月からの本格的な生産・出荷を予定しています。今後は欧州における人工腎臓装置の開発・生産を行い、成長が見込まれる海外市場に向けた人工透析関連製品の重要な拠点となるべく、国内の工場に並ぶ生産能力を持たせる予定です。



欧州工場外観



部品受け入れ風景



日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3-43-2
<http://www.nikkiso.co.jp>